

村上小食育新聞

第9号

毎月19日は
食育の日です。



調理員さんに

感謝の気持ちを表そう

3年生は学級活動の時間に「感謝の気持ちを表そう」というテーマで学習をしました。子どもたちはたった5人の調理員さんが全校で約320人分もの給食を作っていることや、調理員さんの素早い包丁さばきを映像で見て大変驚いていました。

さらに調理員さんがお箸の向きを直しながら洗っていたり、ご飯粒がこびりついたままのお茶碗を一枚ずつ手洗いでいたりする片付けの様子を見て、洗うのが大変そうだな、きちんと箸の向きをそろえて返さないと調理員さんに悪いなと自分たちの片付けを振り返っていました。そこでどんなふうに片付けをしたら調理員さんが喜んでくれるのか一人一人が考えました。その一部を紹介します。

◎これからはちゃんとごはんつぶを残さないようにします。
齋藤紫音さん

◎ごはんつぶをつけないようにします。だから食べ終わった後、チェックします。山田麟太郎さん

◎何時間もかけて作ってもらったから気持ちを伝える。きれいなものがあっても挑戦して食べる。はしの向きをそろえる。
大滝輝流さん

◎給食当番のときは、他の人の確認をして食べ残しをなくしたいです。
鈴木 栞さん

それから一週間、片付けの時に気を付けることを一人一人が決め取り組みました。調理員さんは授業後、後片付けがとっても良くなったと喜んでます。感謝の気持ちは片付けをきちんとすることでも伝わるんですね。



給食委員会

「食事のマナーと感謝の気持ちを大切に」

大切に

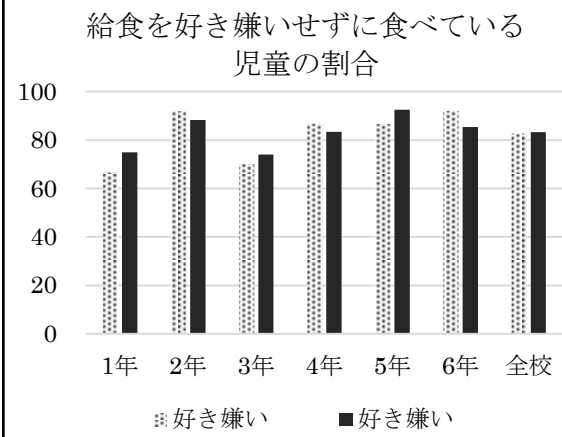
26日の児童朝会で、給食委員会

の発表が行われました。内容は「食事のマナーと感謝の気持ちを大切に」をテーマとした劇でした。ひじについて食べると食べ物がおぼれやすくなること、また出された料理に対して「まずい」などと口に出すと周りの人が嫌な気持ちになることなどを全校児童に劇で分かりやすく伝えました。家族や先生、友達など様々な人と共に食事をするにあたって、みんなが気持ち良く食べるために食事のマナーには気を付けたいですね。



好き嫌いせずに食べよう

5月、12月に全校児童を対象に給食を好き嫌いせずに食べているかのアンケート調査をしました。5月に好き嫌いせずに食べている児童の割合は82%でしたが、12月では83%とわずかに増加しました。今後も給食指導や食育の授業を通して、好き嫌いせずに食べる子どもを増やしていきます。ご家庭でもご協力よろしくお願いします。



給食週間（1月25日～29日）

調理員さん いつもありがとうございます

給食週間に、いつもお世話になっている調理員さんに感謝のメッセージをプレゼントしました。調理員さんの苦労や工夫なども考えながら作ったメッセージカードは、とても心が温まるものばかりでした。



4年生のメッセージカードから

いつも給食を作ってくれてありがとうございます。わたしはこれからすききらいなく良いしせいでおいしく食べるのががんばってください。

4年1組 高橋 愛也

ぼくはピーマンがきらいだけど食べられました。これからもおいしいごはんをおねがいします。

4年1組 堀井 悠楽

いつもおいしいごはんをありがとうございます。ぼくのめあては、はしのむきをそろえるです。がんばっています。

4年2組 佐々木 哲平

●サケリンと行く！北陸新幹線 味めぐりの旅

1月25日発行の食育新聞「給食週間号」でお伝えしたとおり、今年度の給食週間の献立テーマは北陸新幹線 味めぐりの旅でした。新潟県上越地方、富山県、石川県、福井県の郷土料理や特産品を使った料理に加え、村上市の地場産物を取り入れた献立を実施しました。詳しい献立説明については、食育新聞「給食週間号」をご覧ください。

給食を通して、各地に伝わる食文化や歴史を学ぶ良い機会となったようです。



27日（水）石川県の料理
ごはん、牛乳
治部煮、れんこんサラダ、いしる汁



28日（木）福井県の料理
ソースカツ丼、牛乳、
梅肉和え、打ち豆汁

毎月19日の食育の日に発行している食育新聞ですが、今月は給食週間が終わったからの29日の発行にさせていただきました。